



らしくあれ

令和2年5月15日

No. 2 邑知中学校

今、私たちにできること

本来ならば、生徒会役員が中心となって、朝の元気な声が生徒玄関に響いているはずなのですが、4月13日からの臨時休業がさらに5月末まで延長されました。生徒たちは長く続く休校と家庭学習にストレスを感じていることと思います。

5月に予定していた郡市大会、郡市陸上大会、6月4日の郡市相撲大会も今年度は中止となりました。全能登大会等については未定となっております。生徒たちにとって、楽しみにしていた或いは目標にしていた大会が中止となったことは大変残念ではありますが、現在の状況を考えてと受け入れざるを得ません。切り替えて次の目標に向かっていきましょう。中学生ともなれば社会の一員です。自分たちがおかれている状況を理解し、自分ができることを考えて行動してもらいたいと思います。

<4月6日(月) 入学式>

この日は少し強めの風が吹き肌寒さも感じましたが、満開の桜の中、入学式を行うことができました。

新型コロナ対策で、新入生、3年生、保護者が間隔を広くあけた座席で座り、式を行いました。新入生33名は緊張しながらも大きな声で返事をし、中学校生活で頑張ろうという意気込みを感じさせてくれました。

学校長の式辞では、できなかったことができるように努力すること、新しいことに挑戦すること、失敗したり転んだりしても立ち上がることが大事だという話がありました。その後、羽咋市教育委員会木谷千恵子教育長職務代理者からは、告辞の中で、小学校6年間で培ってきた挑戦する心、最後まであきらめずやり抜く心、相手を思いやる心で自信をもって、新しい生活に挑んでほしいというお言葉をいただきました。また、谷口真吾PTA会長からは、「経験は宝なり」というように、結果が成功であっても失敗であっても、全て自分の貴重な体験となること、「人間」という字の通り、一人一人が自分とは違った人の間にたって成り立っており、違うからこそ成長できるというお言葉をいただきました。新入生代表谷内田紗耶さんは、中学校生活の全ての活動の中で、夢に向かい、あきらめず努力していくことを誓ってくれました。最後に、生徒代表生徒会長3年中村鼓太さんが、いろんなことに無理だと思わず行動に移すことが大切で、「チーム邑知」の団結はどの学校にも負けない。史上最高の邑知中学校を創りましょうと新入生に呼びかけました。



<4月8日(水) 交通安全教室>

駐在所、交通安全協会、交通安全推進隊の皆様にご来校いただき、交通安全教室を行いました。食堂でビデオを見ながら話を聴いた後、1年生は実際に自転車に乗って、交通ルールの確認をしました。真新しい自転車で、学校前の横断歩道の渡り方等をご指導いただきました。



【令和2年度前期生徒会・専門委員会・学級役員】

前期生徒会、専門委員会、そして学級の役員が決まりました。

学校全体で様々なことに取り組むときのリーダーです。役員としてこの人たちを選んだ全校が、責任をもってバックアップしていきましょう。

《生徒会役員》

会 長 中村 鼓太

男子副会長 松本 琉之介

女子副会長 八野田 静

書 記 天田 美玖

《専門委員会》

代表委員会 委員長 上田 一護

生活委員会 委員長 竹屋 祐輝

整美委員会 委員長 道口 紀香

保健委員会 委員長 藤岡 響基

図書委員会 委員長 武藤 珀人

給食委員会 委員長 寺井 碧泉

JRC委員会 委員長 瀬谷 真桜

《学級役員》

1 年 会 長 山岸 美晴

副会長 國田 一吉

書 記 谷内田紗耶、横井 陽

2 年 会 長 藤井 菜優

副会長 能山 雄登

書 記 櫻井 結子、山本 煌大

3 年 会 長 上田 一護

副会長 楠 咲来

書 記 中村 奈央、九笹結衣子

～ 新聞を読もう ～ 休校を有意義に過ごし、社会を知ろう

日頃はじっくり新聞を読む機会がないかもしれませんが、休校の期間を利用して、じっくりと新聞を読んで下さい。新型コロナウイルス関連の内容がほとんどかもしれませんが、その中で、様々な工夫や取り組み、心温まる出来事、困っている人たちへの支援、国と国との関係などいろいろなことを学ぶことができます。記事の作り方に注目して、表題、リード文、本文などの書き方に注目してみるのもいいでしょう。読者投稿の欄に注目すると、同じ中学生の思いを知ることできます。そんな記事を読みながら、自分たちにできることは何かを考えてみてください。実際にいろいろな行動を起こしている中学生がいることも紹介されています。医療従事者に関する記事など、テーマを決めて記事を探して読むのも良いかもしれません。

そして可能ならば、気になった記事を1つ選んで、簡単な感想を書いたり、5分程度で内容を要約したりしてみてください。読解力や文章表現力をつけることができます。読んだだけで終わらずに、読んだこと（INPUT）を書いたり他の人に話したり（OUTPUT）することで、より学習効果が高まるのが脳科学の研究からわかっています。

将来、社会に出て活躍するためには、多くの記事から様々な情報を読み取り、現状を知るとともに自分なりの考えを持ったり、自分には何ができるかを考えたり、これから先の課題を見つけたりする力が必要です。休校期間を将来に向けた力をつける良い機会にしてください。

マスクを寄付していただきました

石野町のじゅんHASHIZUMEさんから、5枚入りのマスクを寄付していただきました。本日、宿題と一緒に配布しました。感謝して、大切に使いましょう。

邑知中学校の皆様へ

学校が臨時休業となり友達となかなか会えない毎日が続きますが、今できることを精いっぱい頑張らしましょう！！

きっとコロナが終わったら、今までよりも何十倍も日常生活が楽しくなるはずです！！

わずかですが、感染予防のためにマスクを寄付させていただきます。

みんなでコロナに勝とう!!

羽咋市石野町 **じゅんHASHIZUME**